

専徳寺報

第394号

平成24年1月7日発行

浄土真宗本願寺派

専徳寺

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

<http://sentokuji-iwakuni.net/>

専徳寺

検索

宗祖750回大遠忌勤修(平成23年4月～平成24年1月)

御正忌報恩講法要

御案内

一年で最も大切な行事「報恩講」が始まります。報恩講とは、親鸞聖人の御命日法要です。この度は750回忌です。報恩講は門徒必修の法要です。できる限りご参詣くださりご縁におあいくださいますようご案内申しあげます。

日時 1月19日(木) 昼1時半～3時半

20日(金) 昼1時半～3時半
夜7時半～9時

21日(土) 朝10時～正午
昼1時半～3時半

ご講師 19日………住職・前住職

20日・21日……本願寺布教使

舟川 宏顕師(福岡)

◆お斎料は500円、地区割りは

19日…灘 地区(11時半～13時)

20日…通津地区(11時半～13時)

◆園児参拝…20日朝

◆御伝鈔拝読…20日昼座と夜座

宗祖のご生涯を曾孫の覚如上人が書き綴られた『御伝鈔』を拝読します。

◆大遠夜と万灯会 20日夜座

宗祖のご臨終を偲ぶ厳肅な法座です。

◆仏具回収…ご家庭でご不用となった仏具(お念珠、仏壇の荘嚴具等)を回収いたします。

●膝掛けをお持ちになると、足腰が冷えなくて良いと思います。

●法話中の帳場受付はお休みです。宜しくご協力下さい。

●参拝セット(念珠・聖典・式章・聴聞カード)を用意しましょう。

◎耳だけを 子牛に向けて 草を食む
母さん牛の 乳の張りよし

(朝日歌壇 佐世保 近藤福代)

作者は自らを「牛飼い」という。

多数の作者の歌がこれまで選にのった。「振り向きて

『あなたはどなた』と 問う父に 看護婦ですと 言え
ば顔く(近藤福代)。介護もした方だ。

牛の表情を細かく細かく見ている。人の母が仕事しな

がら子供に気を向けているよう

に、母牛もとびはねる子牛から気

をはなさない。永年の牛飼いの力

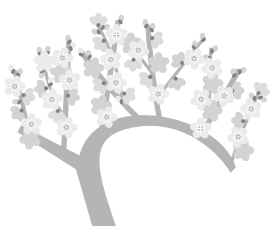
ンである。それを見事な歌にして

上手い。

いつも読んで楽しい。この人に

会ってみたい。

(俵山和上)



如来・人・言葉 88

如来の救いに応える場

大谷光真

昨年十月十四日、岩国組のご門徒160名（専徳寺35名）と共に、親鸞聖人750回大遠忌法要に参拝しました。

その際、ご門主（第24代 大谷光真門主）より次の言葉を頂戴しました。（括弧・傍線は住職の補足）。



「皆様、ようこそご参拝になりました。（親鸞聖人750回忌の）大遠忌法要は、宗祖親鸞聖人のご命日にちなんだ仏事という意味では、毎年の報恩講と共通ですが、50年ごとの区切りとして、一生に一度か二度のご勝縁、貴重なご縁です。」

この機会に、私にとって親鸞聖人とはどういう方か確かめ、そのみ教えを深く味わい、さらには、ご本願に出遇えた喜びを行動に移し、後の世代に伝えたいと思います。

まず東日本大震災、またその後の災害で被災された方々にお見舞い申し上げます。親鸞聖人の時代にも大きな地震があり、気候不順からたびたび飢饉がありました。若くして命を失った人、生きるために大小さまざまな罪を犯した人（悪人）は少なくないはず。そういう人々こそ見捨ててはおけないというのが、親鸞聖人のお心であり、阿弥陀如来のご本願です。

ご和讃（親鸞聖人作の詩）に、

如来の作願をたづねれば
苦悩の有情をすてずして
回向を首としたまひて
大悲心をば成就せり

とあります。

悪人が救われると聞くと、それでは世の中の秩序が保たれないと思う方がおられますが、治療を受ける病人の喩えをかりると分かり易いと思います。

阿弥陀如来が私をご覧になった時、悪は処罰の対象ではなくて、迷いの姿であり、救いの対象です。現代の私たちには、直接犯す罪と共に、知らず知らず犯していく大きな罪があります。

豊かさになれて、命の尊さや、人間同士支え合うことの大切さを見失いがちであった時、大震災にありました。ご本願を信じ、念仏申す者にとって、人生は往生浄土の道であり、阿弥陀如来のお救いに応える場です。如来の救いを私一人の感得に終わらせることなく、複雑につながった他のいのちにも開かねばなりません。

亡くなった方も生き残った私たちも、ひとしく阿弥陀如来のお慈悲の中にあります。いのちを失われた方の無念さ、大切な人を亡くされた方の悲しみを少しでも受け止めるようつとめたいと思います。

宗門としては義捐金・支援金の募金や支援の活動が続きますよう願っております。

原子力発電所の事故は、人間の知恵や能力を超え、私たちの欲望が広がったことを示しています。それは後の世代に犠牲を強いることになるでしょう。かぎりある存在、「凡夫」という考え方の中身を深める必要を感じます。

仏法を伝えられ、この御影堂を託された私たちが、子孫に何を残していくことができるでしょうか。南無阿弥陀仏、お念仏申しつつ、精一杯、過ごさせていただきましょう。」

ついたち礼拝

どなたでもお参りいただけます。
月に一度はお寺へどうぞ



時間 毎月一日。午前9時より約45分間

場所 専徳寺本堂

内容 読経「正信偈しょうしんげ（和讃わさん）」

法話 親鸞聖人の「ご和讃」を一首
ずつ味わいます。

寺内だより



み仏にいだかれて〔葬儀勤修〕

10月28日御往生

平田

佐々木小春様（98）
喪主 古谷 幸枝様

10月29日御往生

通津

河本 久子様（103）
喪主 河本 知之様

11月16日御往生

通津

中崎 正視様（84）
喪主 中崎サチエ様

12月5日御往生

藤生

藤本 芳国様（84）
喪主 藤本 静子様

12月12日御往生

門前

村岡 松雄様（81）
喪主 村岡 房江様

アンケート結果

この度も「お取り越しの案内」の裏に、アンケートをお願いしました。62名の方がご協力くださいました。有難うございました。

質問 あなたにとって1番目と2番目に大切な物は何ですか？

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
一番目に大切な物	家族（親戚・兄弟）									南無阿弥陀仏（仏様・親様） 信心獲得・第十八願		自分とその健康	無回答	
二番目に大切な物	信仰	近所つきあい	信仰・近所つきあい	信仰・近所つきあい・友人	友人	健康（リハビリ）・仕事	笑顔	金銭	無回答	近所つきあい	家族	近所つきあい・家族の健康		
回答（計62名）	19	14	7	1	3	8	1	1	3	1	1	1	1	1
年齢	50歳以下	1	1		1						1			
	51～60歳	1	1	1	1		1	1						
	61～70歳		6	5		1	5	1	1				1	
	71～80歳	10	5	1		1	2					1		
	81～90歳	7	1							1				1
	91歳以上								1					

ご恩を偲びました

12月21日御往生

松山市

藏重 艶子様（88）
喪主 藏重 衆治様

12月21日御往生

保津

穴水ヒデノ様（98）
喪主 穴水 輝見様

12月15日御往生

保津

穴水ヨネコ様（102）
喪主 穴水 徳幸様

〔法事勤修〕（11月・12月）

〔通津〕井原貞子様100、前田次郎様3・3・17、

村中功様1、末廣龍美様50、通谷愛子様100・100、
竹原修一様13、松村利明様1、崎本進様3、小泉
ミナエ様13、岡林チエ子様100、〔保津〕沖好忠夫様
33、大崎英夫様3、水上明彦様1、赤崎耕平様50、
〔青木〕藤本茂則様25、村中恒友様7、村岡由美
子様17、山崎繁様1、〔黒磯〕竹田稔様3、〔藤
生〕白木研二様100、野原哲也様13、弘中勝行様
100、山中愛子様1、〔南岩国〕田坂佳子様3、赤崎
照江様7、川本幸男（高山文子）様1、〔由宇〕藏
田秀夫様7・7・17、稲本順子様3、〔市内〕山尾
文子様1、前川博様、土井光雄様3、〔大藤〕篠田
ツタエ様50、〔日積〕鶴田サヤ様25、〔広島〕川光
匠様3、〔愛知〕松本至夫様13

ありがとうございます

永代経志納

尊い永代経志を賜りました。謹んでお供えいたします。深く御礼申しあげます。

50回忌のご縁に

金参拾萬円也 新町 末廣 龍美様

永代経法要・七回忌のご縁に

金五萬円也 浪の浦 神野 信美様

おめでとうございます

法物下附式〔入仏式〕

◆11月3日

保津 岡野八重子様

お給仕の慶び一入に存じます。

ご報告します

法要余香（永代経法要 11月17・18日）

永代経法要は、また専徳寺門徒総追悼法要です。初の試みとなりました「永代供養はがき」



専徳寺納骨堂お申し込み受付中

は、95枚奉納されました。

初日夜座に新門様、二日目昼座（ご満座）にはご門主様の「750回大遠忌法要のお言葉」を放映しました。

講師の紫藤先生。大変尊い法縁を賜りました。

秋の展示会も無事に終了しました。来年も開催いたします。ご参加お待ちしております。



【ご講師】紫藤常昭師。【参詣者】17日 昼座95

名・夜座37名、18日 朝座91名・昼座82名。【お

供え】藤井則枝、河村アサ子、野原千鶴子、藤

木増男、【お鉢米】津村昌弘、半田正昭、大田峻

秀、吉柴茂、津秋武彦、岡迫博人、松田和暢、

【ご報謝（黒磯）】弘中八重子、藤尾鈴子、木村

八重子、宮本早苗、藤中行恵、周菅雪江、新川

光恵、木村郁子、尾下美津子、坂井弘子、末弘

二三枝、白木アツエ、松脇典子、木村健次

（ ）は焼香者

法要総代様、仏婦理事様もありがとうございました。

平成23年度在家報恩講（当屋）

【3月】28日保津中講（赤崎穰様）

【4月】5日保津上講（水上明彦様）

【10月】18日保津穴水講（土井明子様）

24日保津浜講（秋嶋啓二様）

当屋様には大変お世話になりました。

この度の穴水講で「お寄り講」のすべてが最後となりました。地区ごとの法座である“お寄り講”の伝統が途絶えるのは寂しい事です、これを縁に、現代に適した地域法座を考えてまいります。

専徳寺倶楽部冬の集い（12月19日）

土手の剪定、砂利の整理、すす払い等、約一時間半、境内の大掃除でした。

【参加者】浅井佐、岡崎福美、小方基史、岡林

悦香、冲原政裕、賀屋国昭、吉柴茂、北本征

夫、白田信彦、白田憲光、高林宏明、多山博

通、半田健二、半田正昭、増本真一、松重吉

英、村岡幹郎、村中悟、森上博之、森田幸一、

増本美佐枝、村中久子、半田洋美、森田京子、

白田敬子

山口別院報恩講参拝（11月26日）

【場所】山口別院【講師】足利孝之師【参加者】小方茂生、藤重博